

各施設の整理（鯖江駅～西山公園エリア）

参考資料

項目／施設名	嚮陽会館	市民活動交流センター (NPOセンター)	まなべの館	西山公園	道の駅西山公園	地域交流センター (市民ホールつつじ)	鯖江駅周辺（西口・東口）
建設年・経過年数	1984年・39年	本館 1978年・45年 山車倉庫 1998年・25年	新館 2009年・14年 旧館 1977年・46年	開設年 1965年	2013年・10年	2005年・18年	西口駅舎：1975年・48年
延床面積	3,992.41㎡	本館 1,651.22㎡ 山車倉庫 98.71㎡	新館 674.98㎡ 旧館 2,090.22㎡	供用面積 22.0ha	607.94㎡（市）	2,997.05㎡	西口駅舎：840㎡
現在の用途	集会場・貸館	市民活動拠点・貸館	博物館	都市公園	休憩・地域振興施設	地域交流活動施設・貸館	鉄道駅
指定管理者	(株)きょうよう企画	特定非営利活動法人 さばえNPOサポート	直営	パークサポート有限責任 事業組合	株式会社ネクサス富士屋	(株)鯖江地域交流センター	JR 西日本からハピラインふくい (3社)に移行予定
開館時間・休館日	9:00-22:00・火曜日	10:00～22:00・月曜日	9:00～17:00・月曜日	管理事務所:8:30-17:15・年末年始	9:00-17:00・年末年始	8:30-22:00・木曜日	コンコース：常時開放 みどりの窓口：7:00-20:00
施設の現況 (ハード面)	経年による老朽化が進んでいる 建物外装の剥離・脱落や特定天井などは災害時に危険となり、一刻も早い対応が必要	建物の内外装、各種設備ともに老朽化に直面している	旧館は経年による建物、各種設備ともに老朽化が進んでいる。 天井裏の吹付材にはアスベストが入っている	公園内施設の老朽化が進んでおり、計画的な更新を行うことが必要。	開館から10年が経過し、小規模な修繕が増えてきている。計画的な更新を行うことが必要	建物の内外装、各種設備ともに経年による劣化が進んでいる	西口駅舎：老朽化が進んでいる 自由通路（計画中） 東口：複合施設（計画中）
施設の現況 (機能・ソフト面)	コロナ禍や社会構造の変化等による会館稼働率の低下 公園との一体的な利用がなされていない	施設管理業務への偏り 市民活動、交流創出業務への人的、物的な支援不足		桜、つつじ、紅葉等行楽シーズンは多くの人でにぎわうが、夏季、冬季の来園者が少ない	コロナ禍による来場者減が続いている。県内で新しい「道の駅」が出来てきており、丹南地域の中でも競合している	浴場機能してはあ一定のニーズはある 中心市街地のにぎわい拠点としては機能していない。	もんづくり産業PR、観光案内（鯖江駅眼鏡・観光案内所） 図書館機能を有するカフェ（キラブテト） 市民力によるおもてなしが展開されている（おせっ会等）
開館日数（年間）	309日（R4） 311日（R1）	308日	307日（R4）			309日（R4）	西口駅舎：365日 鯖江駅眼鏡・観光案内所 359日 tetote 260日
施設利用（来館）者数 (年間)	29,964人（R4） 51,242人（R1）	20,799人（R3） 41,602人（R1）	37,720人（R4） 37,207人（R1）	604,905人（R3） 898,355人（R1）	296,269人（R3） 397,622人（R1）	43,007人（R4）	鉄道乗降客 4,050人/日（R4） 鯖江駅眼鏡・観光案内所 6,094人（R4） tetote 7,340人（R4）
稼働（利用率）	29.8%（R4） 36.3%（R1）	21.8%（R4） 24.8%（R1）	1Fホール 72%（R4） 75%（R1）				
設置および管理に関する条例	嚮陽会館 設置および管理に関する条例	市民活動交流センター 設置および管理に関する条例	まなべの館 設置および管理に関する条例	鯖江市都市公園条例	道の駅 設置および管理に関する条例	地域交流センター 設置および管理に関する条例	
現在の役割 (現在の位置づけ)	ゆとりと活力ある地域社会の形成を図る	市民活動関係団体、ボランティア団体等の公益的な活動を支援 市民の活気あふれる交流の場	歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する活動およびそれを通じた交流の場 市民の教養、学術および文化の発展に寄与する	市民の憩いの場であり、レクリエーションの場として、維持・充実を図り、市内外の方々ととの交流の場として活用 市内最大の観光地 交流賑わい創出の場	休憩の場 地域情報の発信 来訪者との交流促進 地域産業の振興	地域社会の交流促進 市民の福祉の増進	鉄道駅・鯖江の玄関口 ものづくり産業PR・観光案内
目指す将来像 (将来の位置づけ)	貸館機能+市民誰もが使いやすいホール	誰もが気軽に立ち寄ることができ、市民活動を後押しする拠点施設を「市民主役所」と称して、その機能強化を図る	あらゆる世代が文化芸術、歴史と学び、遊び、楽しみ、創造、交流の場として市民に親しまれ愛される博物館（ミュージアム）	官民連携による公園のにぎわいづくりや民間事業者のアイデアを積極的に取り入れた憩いと賑わいある公園	民間事業者のアイデアやノウハウを積極的に取り入れ、新たなサービス提供 西山公園の魅力向上をともに補う	地域社会交流拠点	西口：西山公園や、まちなか商店街につながる拠点 東口：カネストリートを経由しめがねミュージアムをはじめとする丹南産業観光の起点